

北海道文教大学・北海道文教大学明清高等学校

高大接続に伴う覚書

北海道文教大学と北海道文教大学明清高等学校は、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜について相互に理解を深め、新時代にふさわしい高大接続の実現に向け、互いに一貫した取り組みが必要であることから、ここにこの覚書を定め、定期的且つ必要に応じ情報・意見交換を行い、実質的課題に積極的に取り組む。

1. 北海道文教大学と北海道文教大学明清高等学校（以下、大学・高等学校）は、高大接続をより実質的で効果的に推進するため定期的（原則年2回、6～7月・9～10月）に意見・情報交換を行う。また、必要に応じ適宜これを行う事ができる。
2. 定例の意見・情報交換会の構成メンバーは、高等学校校長（教頭）・進路指導部長、大学入試広報部長・入試広報課長（課長補佐）の実務者で行うが、必要に応じ学長・副学長・各学部長等教員や学年主任等教諭を加え意見を聴くことが出来る。
3. 高等学校は授業公開や新しい教育の取組等に大学関係者を招く、大学は教員を主軸にこれに参画し意見交換努力を惜しまない。
4. 大学は受験生に求められる資質要件を出来る限り明らかにし、その準備を高校に要請する。入学試験後、その成果を検証し必要あるときは是正を要請する。
5. 大学はオープンキャンパスの他に、高等学校の求めに応じキャンパス訪問や出前授業等、積極的対応努力を惜しまない。
6. 大学・高等学校双方は、アドミッション・センターの行う入学試験結果分析に基づき、是正意見がある時は、真摯にこれを受け止め、改善努力を惜しまない。

以上、大学・高等学校の合意事項として本覚書を交わし、署名捺印する。

平成28年7月28日

北海道文教大学学長

鈴木武夫



北海道文教大学明清高等学校長

能代 茂

